

ねりま 地域活動ニュース

発行：練馬区立区民協働交流センター

vol.97

練馬区の
地域活動団体などを
毎月紹介しています!



今月の紹介団体 ****



2面

未来の子育てトーク

野田 美穂 (のだ みほ) さん
茂木 厚子 (もぎ あつこ) さん
吉田 裕子 (よしだ ゆうこ) さん



3面

シダとさくらの会

小島 誠治 (こじま せいじ) さん



つながるカレッジ ねりま

公開講座の聴講生を 募集します

つながるカレッジねりまは、地域で活動を始めたいと思う人が集い、学びやスキルアップ、地域とのつながりができる場です。カリキュラムの中から、次の講座を公開します。参加方法は、対面とオンラインを選べます。



【定員】30名(先着順)

【申込み】①講座名 ②参加方法 ③氏名 ④電話 ⑤住所 ⑥メールアドレスを、7月1日(火)までにポータルサイト (<https://www.collegenerima.jp>)・電話・メールで協働推進課カレッジ担当係へ

【問い合わせ】地域文化部協働推進課カレッジ担当係

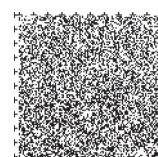
TEL : 03-5984-1613 E-mail : kyodosuishin04@city.nerima.tokyo.jp

「わたし色の地域活動を楽しむ ～自分のビジョンをみつけ まちとつながる～」

【日時】7月5日(土) 10時～12時

【内容】自分の強みを理解しよう。自分の声に耳を傾け、言語化し、まちとの関わり方を考えます。

【講師】村嶋 美茶子 (こねくとういず代表)
くぼ あやの (こねくとういず副代表)



専用アプリのUni-Voice を使用して右のコードを読み取ると記事の情報を音声で読み上げます。

音声コード

子育ての悩みに寄り添い、親子を笑顔に！

未来の子育てトーク



保育士資格を持つ現役ママ3名が運営。左から茂木 厚子さん、野田 美穂さん、吉田 裕子さん

毎月第2月曜に、子育てや発達に関する座談会形式のトーク会（通称：子育てトーク）を開催している「未来の子育てトーク」。子育ての悩みを安心して話せる地域の場所づくりを目指しており、不定期で子どもの発達に関する講座や親子イベント、マルシェなども開催しています。

団体発足のきっかけは、コロナ禍で地域の子育て支援の場が減少したことです。ちょうどその頃、練馬区に引っ越してきた野

田さんは、地域に知り合いも少なく、孤独を感じながら子育てをしていたと振り返ります。

「以前住んでいた江戸川区では、地域の親子交流会を開いていたので、練馬区でも同じ思いの人とつながれたらと考えました」と野田さんは話します。積極的に働きかけをするなかで、茂木さん、吉田さんと知り合い、3人で2023年春に活動を開始しました。

子育てトークは全員の自己紹介から始まり、子育てについての悩みや疑問などを順番に話し合うスタイルです。子どもの年齢



子育てトークは笑いあり涙あり…。90分があったという間でした！

に関係なく、発達に対する不安や向き合い方など、内容は多岐にわたります。

「保健所や学校などで指摘されたことを1人で抱え込んでしまう

親御さんは多いです。それを受け止めてくれる場所があるだけで気が楽になるはず」と吉田さん

は言います。ほかの人たちの悩みを聞くことで、“自分だけじゃない”と思えることが大きな心の支えとなるようです。実際

に、「心に余裕ができて子どもの良いところに気が付くようになった」という参加者の声も聞かれました。

また、「親が不安を抱いていると、子どもも不安定になるので、親が安心できるようにサポートすることが真の子育て支援だと考えています。ぜひ、この子育てトークに参加して、同じ悩みを持つ仲間がいることを知ってほしい」と、茂木さんは言います。

教育機関や病院、遊び場などの地域の情報を得られるのも大きな魅力です。子育ての話をして、気軽に訪ねてみてはいかがでしょうか。

■未来の子育てトーク

事務局：野田 美穂

Instagram→

メール：mirainohokuto

kosodatetalk@gmail.com



取材日に区内外から参加した皆さん。20名定員で、子連れ参加も1人での参加もOKです

地域活動団体助成金等情報

■ 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 「子どもゆめ基金助成金」

【助成対象】子どもの健全な育成を目的に子どもの体験活動や読書活動の振興に取り組む社団法人、財団法人、NPO法人、活動を実施するための体制が整っていると認められる団体

【助成金額】1活動あたりの限度額：全国規模の活動は600万円 / 都道府県規模の活動は200万円 / 市町村規模の活動は100万円

【応募期限】2025年6月17日

【関連URL】<https://yumekikin.niye.go.jp/jyosei/index.html>

【問い合わせ】独立行政法人 国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金部

〒151-0052 渋谷区代々木神園町3-1

TEL：03-5790-8117（平日9時～17時45分）

■ 公益財団法人 みずほ教育福祉財団 「配食用小型電気自動車寄贈事業」

【助成対象】高齢者向けに配食サービスを行っている非営利の民間団体などに対し、配食用小型電気自動車（愛称：みずほ号）を1台寄贈

【寄贈内容】配食用小型電気自動車1台

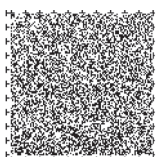
【応募期限】2025年6月13日

【関連URL】<http://www.mizuho-ewf.or.jp>

【問い合わせ】公益財団法人みずほ教育福祉財団 福祉事業部
〒100-0005 千代田区丸の内1-6-1 丸の内センタービルディング E-mail：fjp36105@nifty.com

TEL：03-5288-5903 FAX：03-5288-3132

※お問い合わせはできるだけ E-mail をご利用ください。



色とりどりの花を咲かせて地域の笑顔づくり

シダとさくらの会



左から前委員長の中村 忠さん、委員長の小島 誠治さん、副委員長の杉田 守輝さん、小松 直美さん

シダとさくらの会は、シダ公園（桜台）、豊玉さくら公園（豊玉中）、学田公園（豊玉南）の3か所で花壇の管理活動をしている団体です。約20年前からこの地域で行っていた区の緑化協力員としての活動を引き継ぎ、2020年4月に団体を立ち上げました。今では、50代から80代の男女17人のメンバーが週に1回、午前中に公園の花壇の手入れをしています。



種からネモフィラを育てて植えている公園は都内でも数が少ないそうです。花の咲く時期は、近隣の保育園の園児たちで賑わいます

会では、春と秋の年2回、植える花を会議で決め、花の種苗を買い付けて植え替えを行います。肥料を与え、雑草を取り、花付きが終わったら花がらを摘み取るなど、日々の地道な作業も欠かせません。

メンバーは「花がきれいに咲いたときが1番うれしい」と口をそろえます。「マンション住まいで土を触る機会がないから」という理由で入会した人もいました。副委員長の小松さんは「最初は雑草と花の区別がつかなかったのですが、今ではここでの作業がかけがえのない癒しの時間です」と話します。

4月に取材したシダ公園は、菜の花やチューリップと共にネモフィラが花盛りを迎えていました。「今年もネモフィラは咲いていますか?」と地



集まったメンバーはそれぞれ作業に精を出していました

域の人から問い合わせがあるほどの人気です。ネモフィラに惹きつけられるのは人間だけではなく、ネモフィラを求めて飛んで来るミツバチも増えたそうです。

「ネモフィラで有名な茨城県のひたち海浜公園に相談

し、種からきれいに咲かせる方法を教えてもらいました」と副委員長の杉田さん。また、日々の活動以外にも、メンバーで勉強と親睦を兼ねて新宿御苑や小石川植物園などへ草花を観察しに行くこともあります。

「活動を通じて私たち自身が活力をもらっています。これからも地域の皆さんに楽しんでいただけるように、上手に咲かせていきたいですね」と委員長の小島さんは語ります。

現在、一緒に活動する新たなメンバーを募集中です。年齢を問わずどなたでも参加できますので、練馬のみどりを育むボランティア活動に興味のある方は、ぜひご連絡ください。

■シダとさくらの会

委員長：小島 誠治

TEL：03-5984-2418

（練馬区みどり推進課協働係）

■公益財団法人 都市緑化機構／一般財団法人 第一生命財団 「緑の環境プラン大賞」〈ポケットガーデン部門〉

【助成対象】 日常的な花や緑の活動を通して、地域コミュニティの活性化や、保育園・幼稚園、学校、福祉施設等での情操教育、身近な環境の改善等に寄与するアイデアを盛り込んだプラン

【助成金額】 1件あたりの上限額：150万円

【応募期限】 2025年6月30日

【関連URL】 <https://urbangreen.or.jp/grant/3hyosho/green-plan/guideline-plansho>

【問い合わせ】

公益財団法人都市緑化機構内「緑の環境プラン大賞」事務局
〒101-0051千代田区神田神保町3-2-4 田村ビル2階
TEL：03-5216-7191 FAX：03-5216-7195
E-mail：midori.info@urbangreen.or.jp

■公益財団法人 太陽生命厚生財団「事業助成」

【助成対象】 在宅高齢者、在宅障がい者等（その家族を含む）の福祉向上や文化活動の支援事業、公的サービスでカバーされにくい各種活動の支援事業

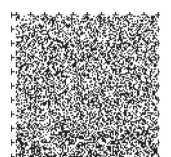
【助成金額】 1件あたりの上限額：50万円

【応募期限】 2025年6月30日

【関連URL】 https://www.taiyolife-zaidan.or.jp/promotion_recruitment/index.html

【問い合わせ】

公益財団法人 太陽生命厚生財団 事務局
〒143-0016 大田区大森北1-17-4
太陽生命大森ビル
TEL／FAX：03-6674-1217
E-mail：kosei-zaidan@taiyo-seimei.co.jp



練馬つながるフェスタ in 春日町 を開催します!!



6月28日(土) 13時～15時※

練馬区立春日町図書館

(春日町5-31-2 2階)

「練馬つながるフェスタ (つなフェス)」は、町会・自治会、NPOやボランティア団体など地域で活動している皆様の取り組みを「見て! 聞いて! 知って!」たくさんの仲間と“つながる”ことができるイベントです。練馬つながるフェスタ in 春日町では、ワークショップを行いますので、ぜひ、会場へお越しください。詳しい内容は練馬区公式ホームページをご覧ください。

※開催時刻は変更になる場合があります。

ホームページを随時更新しますので、
右の二次元コードをご参照ください。

詳細は
こちら➡



練馬区空き家活用相談窓口

空き家を活用して 地域に貢献しませんか?

地域コミュニティの活性化や地域課題の解決等につながる公益的な目的の空き家活用を支援します。物件を貸したい所有者と活用を希望する団体等の登録、



マッチング、空き家の改修等費用の助成、アドバイザー派遣などを行っています。まずはご相談ください。

【問い合わせ】みどりのまちづくりセンター
(空き家活用相談窓口担当)

TEL / FAX : 03-3993-5451

受付時間 9時～17時 (事前予約制)

※土日祝、年末年始 (12月29日～1月3日) を除く



空き家なんでも相談会毎月開催!

空き家に関するお悩みについて、様々な専門家にワンストップで相談できます。

無料
予約不要

【日 時】原則 毎月第4月曜日

10時～12時 (11時30分受付終了)

【場 所】練馬区役所本庁舎 1階アトリウムほか
(練馬区豊玉北6-12-1)

【参加費】無料

【参加専門家団体】

- ① 東京司法書士会
- ② 東京都行政書士会
- ③ 公益社団法人 東京都宅地建物取引業協会
- ④ 公益社団法人 全日本不動産協会 練馬支部
- ⑤ 一般社団法人 東京都建築士事務所協会 練馬支部
- ⑥ 東京土地家屋調査士会 練馬支部

※開催月により参加団体が変わります。

あらかじめ HP でご確認の上、お越しください。



練馬区立区民協働交流センター (つながる窓口)

区民協働交流センター (つながる窓口) では、町会・自治会、NPO、ボランティア団体などの活動に関する相談を随時受け付けています。どうぞお気軽にご利用ください。

練馬1-17-1 ココネリ3階 TEL: 03-6757-2025 年中無休 9時～22時 (12/29～1/3は休業)
事業の実施等により開館時間変更となる場合があります。

【事前予約が必要な相談内容】

- ① NPO法人の立ち上げ、運営等に関すること
- ② 会計・税務に関すること
専門の相談員や税理士が対応しますので、事前に電話でのご予約をお願いします。



facebook



<https://www.facebook.com/Nerimakyodokoryucenter/>

練馬区立区民協働交流センター フェイスブック 検索



X (旧twitter)



https://twitter.com/kyodo_nerima

練馬区立区民協働交流センター エックス 検索

ホームページ

※過去の地域活動ニュースも掲載中
<http://www.nerima-kyodo.com/>

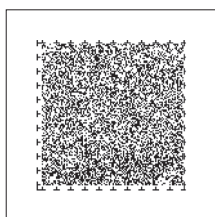


練馬区立区民協働交流センター 検索

★ 音声でお読みいただけます

「ねりま地域活動ニュース」は音声で伝える「視覚障害者用」録音版を貸し出しています。ご希望の方は一步の会にお申し込みください。

NPO法人点訳・音声訳集団一步の会 練馬区高松2-16-12 TEL: 03-3577-5666



音声コード